

ふくしまの森林文化調査カード

NO.23

県 HP公開 (  可 ・ 否 )

区分	1. 森づくり                      2. 森の恵み                      3. 森と技 4. 森と暮らし                      5. 森の文化財                      6. 森の風景	
分野(ふりがな)	(分野) 農村歌舞伎	(ふりがな) のうそんかぶき
地域独特の呼び方	—	—
タイトル	田島祇園祭屋台歌舞伎	
伝承地域	南会津郡南会津町田島	
由来	田島祇園祭は800余年の伝統を誇る会津の代表的な夏祭り。毎年7月22日から24日の3日間開催される。	
内容	田島祇園祭は毎年7月22日から24日の3日間開催され、22日・23日の2日間に町内を練り歩く4つの大屋台(山車)で、地元の小・中学生たちが歌舞伎を上演する。子供歌舞伎が明治6年に廃止以降、地元の大人が引き継いだり、興行歌舞伎や他県から素人歌舞伎の一座を招いていた時期もあったが、「田島祇園祭屋台歌舞伎保存会」の尽力により、1994(平成6)年の祭で120年ぶりに子供歌舞伎が復活した。	
文化財等の指定状況	国指定重要無形民俗文化財(1981/1/21:田島祇園祭のおとうや行事)	
問い合わせ先	南会津町商工観光課(Tel:0241-62-6200)	

【フリーフォーマット】

キーワード	
◇田島祇園祭のお党屋(とうや)行事	<p>田島祇園祭のお党屋(とうや)行事は、12組あるお党屋という特色ある祭祀組織を中心に執行される。屋台の曳航をはじめ、神輿渡御、太々神楽の奉納などのほか、これらに先立って濁酒の仕込みや御神酒開きなどの諸準備も行われる。特に20日には、さき迎え、七度の使い、七行器(ななほかい)の献上など、お党屋による特殊な行事が行われる。この行事は、古式を良く伝えており、それが職業的な神主ではなく、お党屋という氏子を中心とした祭礼組織を中心として行われる点で重要である。また、今日でも1603(慶長8)年の記録にほぼ近い形で祭の行事が行われている点でも貴重である。(国指定文化財等データベースより)</p>
<p>田島祇園祭屋台歌舞伎</p>	
	
<p>(写真提供: 南会津町商工観光課)</p>	